

12月定例会 町政を問う 一般質問

Q 来年度予算編成は1%減で編成



小野 覚議員
山崎町長にとり2期目最後の1年だが、予算編成にあたり基本姿勢は。また、歳入見通しにある63億3000万円は確保できるのか。平成24年度の行政効率化と財政健全化に向けた具体的方策は。

これに国県支出金など特定財源をあわせると、一般会計は65億円前後で前年度より少なくなる見込みだ。財政健全化は、引き続き再点検しながらやっていく。

Q 庁舎建設の決意は手順を踏んで

小野議員

庁舎建設には位置の選定など難題はこれからだが、トップリーダーとしての決意は。

山崎町長
庁舎建設は法に基づいた手順がある。議会、そして町民の皆様方の理解をいただかなければ進まない。実施計画等の策定を進めながら、理解いただけようように手順を踏んでいく。

山崎英樹町長
私の任期最後の1年であり、これまでの取り組みを整理する年度と位置づけている。平成24年度の歳入見通しは、町税や普通交付税など、一般財源の歳入見込みを47億6200万円とし、昨年度に比べ1%減で試算している。



Q 新庁舎建設時期は竣工は26年度



安部朋次議員
町長は平成22年度に新庁舎建設の検討を決定し、新庁舎建設検討委員会を、議会も庁舎問題調査特別委員会を設置した。また、町政座談会で町民の意向を聞いた。

その結果、町長は12月定例議会において、本庁舎方式による実施計画策定の考えを示したが、その報告時期、建設の設計着工および竣工時期を問う。

山崎英樹町長

実施計画は平成24年3月議会にて報告したい。建設設計は平成24年度とし、建設着工は25年度、竣工は26年度というスケジュールを考えている。



赤名庁舎(上)と頓原庁舎



Q TPPの影響は66%減の8億円

小野議員

町長はTPP参加に対し明確に反対の立場だが、参加した場合の農林業への影響を推計した中で、反対の世論を広げる努力が必要だ。公的医療保険、介護保険制度を危惧する意見があるが、影響をどう考えるか。

山崎町長

TPPの影響は、農水省の手法により算出すると、現在の農業生産額は24億円だが、66%減の8億円となる。自由診療の拡大については注視していくが、本町の医療は何が何でも守る決意だ。

以下、一問一答の詳細

Q 建設用地は慎重に考えるべきだが、実施計画と同時に示すのか。

また、24年度には議会へ議案提出があると思うが、問題点が相当ある。短時間の計画策定で町民に納得のいく説明ができるのか。

A 建設用地は計画の中に入るものであり、当然町民が納得いくよう努力せねばならない。

Q 本町は4つの地域で構成されており、本庁舎以外の核となる施設整備についても考慮すべきだ。例えば地域振興センター・防災センター・自治組織活動センターなどが考えられる。

実施計画を提示する前にこのような整備計画が示されないと、町民は納得しないと思うがいかがか。

A 支所機能の充実、4つ

Q 高校活性化体制は専任者で対応

小野議員

飯南高校「きらりドリムアップ」支援会議の最終報告を受け、町長は行政報告で、横断的に取り組む体制を整備すると述べたが、具体的にはどのように考えているのか。

また、私は町長部局へ飯南高校の活性化支援のための特命担当職員をおく必要を述べてきたが、どう反映されるのか。

山崎町長

飯南高校支援についての最終報告では、推進組織が大きなポイントになる。取りまとめをするため、専任者を置きたいと思っている。



さつき会館

地域の中心的施設整備は最も重要だ。庁舎内の検討、町民の方々の意見などを聞いて進めていく。

Q 本町の後期基本計画に支所と公民館を一緒にする考え方があがるが、公民館本館の建設・教育委員会の位置づけ・生涯教育の場所などを総合的に考慮すべきであり、私は疑問に思っている。

本庁舎建設の前に、このような基本的土台を議論し、後期基本計画と本庁舎建設との整合性を考えることが必要と思うがどうか。

A まちづくりを拠点で進むのか、4つのゾーンで

進めるのかということだ。過疎計画に公民館本館をイメージした生涯学習センターを入れていくが、どのゾーンへ設置するかについて本庁舎とセットで考えていくべきだ。町民のご理解をいただいて進めていく。



新庁舎建設検討委員会



県立飯南高校